

テーマ：『 地域教材の活用と家庭・地域との連携を図った環境教育の推進 』

上三川町立 明治南小学校

Tel. 0285-53-0237

担 当 柴 山 洋
者：



■実践内容：

本校では、第4学年の総合的な学習の時間「ホタルプロジェクト」を中心に、ホタルの育成を通して環境教育を推進しました。まず、児童・保護者・地域の方が協力して学校敷地内にホタルが棲めるビオトープを造り、全校生が自分の名前を書いた石を敷き詰め、遮光シートにホタルの絵を描いたり、ホタルの幼虫やカワニナを放流したりしました。また、ホタルについて調べたり、ホタルに詳しい講師の先生を招いたりしながら学習を続けました。夏の夕べには、優しい光を放ちながら飛ぶホタルを見に、多くの児童・保護者・地域の方が来校しました。

■実践成果：

以前はこの地域でも見られたホタルを育てることで、児童は環境問題を身近な問題としてとらえることができるようになりました。さらに、生き物の生命と環境についても考えられるようになってきました。また、学校(教師・児童)だけでなく保護者や地域の方の協力を得ながら実践したことにより、学校教育や子どもを取り巻く諸問題に関心を持ってくださる方も増え、家庭や地域の教育力の向上にもつながりました。

■実践ポイント：

児童の行動力を育成するという観点から、調べ学習とホタルの育成を並行して行いました。また、児童・保護者・地域の方それぞれに、自分たちの住む地域のよさを体感することが地域づくり・人づくりにもつながるのではないかと、この思いから、地域教材としてホタルを取り上げ、学校独自ではなく家庭や地域との連携を図った取組として実践し

ました。